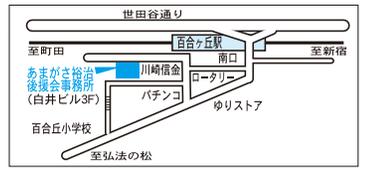




発行所/民進みらい川崎市議会議員団事務局  
 〒210-8577  
 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内  
 TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

百合丘事務所 〒215-0011  
 川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F  
 小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分  
 TEL・FAX:044-955-2417  
 メール: amagasa@khaki.plala.or.jp



ホームページ: <http://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています。

# 事務手続きは最短5年 事業着手時期も見えてきた！

横浜市営地下鉄3号線の延伸について、3月1日、横浜市に出向きヒアリングをしました。横浜市からも、「両市でしっかり強調して作業を進めさせていただいている」との、川崎市への感謝の言葉もお聞きしました。ヒアリングの中で、横浜市側も10か所のボーリング調査を行い、すでに両市においてルートを引くための複数案の検討をしていることがわかってきました。

その内容を、2018年3月8日予算審査特別委員会での、あまがさ裕治の質問と答弁で川崎市にも確認しました。

## 運行するための重要事項は、事業期間、事業費、費用対効果、工程の容易性

**あまがさ** > 現在進められている、地下鉄運行のための重要事項とは？

**まちづくり局長** > 同路線の延伸については横浜市交通局において、鉄道事業者としての視点で検討の深度化を図っているところ。並行して行っていた土質調査についても、2018年1月までに現場調査が完了した。

事業化に向けた重要な検討事項としては、事業費や費用便益などの採算性、施工性などがあると横浜市から聞いている。

## 来年3月までに事業化判断 ▶早期にルートの合意、40年償還の見通しもつき、国の承認に耐えられる

**あまがさ** > 今年4月からの事業化判断の際、何が整

っていないかならぬのか？

**まちづくり局長** > 現在、横浜市で事業化の検討が進められている。ルートに関する合意形成や事業採算性確保の状況などを踏まえ判断すると聞いている。こうした中、川崎市としても、市にとってメリットの大きい計画となるよう様々な観点から検討を進めているところ。横浜市の事業化判断に向けて、引き続き連携して取り組んでいく。

## 事務手続きは5年間。この間に事業許可も取得 ▶着工時期もみえてきた

**あまがさ** > 事業許可も含め、事務手続きにはどれくらいの時間が必要とされるのか？また、着工時に必要な諸条件とは何か？

**まちづくり局長** > 一般的に環境影響評価、鉄道事業許可、都市計画決定、工事施工認可などの手続きが必要。また、国の補助採択など関係機関との調整などを踏まえると、4年から5年程度かかると想定しているが、事務手続きを進める際には、横浜市とも調整を図りながら適切に対応していく。

事業化判断がされる来年3月以降、社会的な経済状況はありますが、早い時期に横浜市は国庫補助採択へ向けてのアクションを取ると考えられます。皆さんのお意見をお聞かせください。

## 横浜市営地下鉄3号線 延伸による 麻生区のまちづくり

## ルート・中間新駅位置は あと1年で全容が出ます その前に意見を！

### 福田・川崎市長にも 選挙公約実行を求めています

福田市長は2013年の選挙で、自分の公費ポスターに「横浜市営地下鉄3号線の延伸」を記載、特記しています



川崎市議会議員  
**あまがさ ゆうじ 裕治**

## 市営地下鉄3号線の延伸についてのご意見を

### 1.川崎市総合都市計画Cランクの位置付けについて

- 1) 上位ランクか、全力で取り組む位置付けに変えるべき
- 2) Cランクのままがいい
- 3) その他ご意見

### 2.新百合ヶ丘南口ロータリー機能を地下鉄駅建設に合わせて抜本的に見直す必要があると思いますか

- 1) 必要あり
- 2) 現状機能で良い

### 3.皆さんの地域の変化などお聞かせください。

お住まいは？ 麻生区 ・ 丁目

※集計の上、川崎市に提出しますので必ず町番を御記入下さい

## 2018年度予算

### ・鉄道ネットワークの形成

<横浜市営地下鉄3号線延伸に関する調査の実施> 1,000万円

### ・新百合ヶ丘駅周辺の整備

<横浜市営地下鉄3号線延伸など  
周辺環境等の変化を見据えた、  
新百合ヶ丘駅周辺まちづくりの方向性の検討> 528万円

### <改めて皆さんのお考えをお聞かせください>

学校法人東成学園(昭和音楽大学)の下八川共祐理事長を請願発起人代表に、日本映画大学・佐々木史郎理事長、田園調布学園大学・西村昭理事長、桐光学園高等学校・小塚良雄理事長を発起人に「横浜市営地下鉄3号線延伸についての請願書」が出されています。「学生にとって通学区に時間を要することは決して良い学習環境にあるとは言えません…川崎市総合都市計画(案)によりますと事業の取組時期はCランク(20年以内に着手を目指す事業)に位置付けられています。これではあまりにも時間がかかりすぎて市民の要望とかげ離れすぎています。ぜひ、より上位計画にランクアップして早期に着手してください」とい

う内容で、市議会までの限られた時間に7,700人もの署名を集め、市議会議長あてに提出されました。これは皆さんの思いの表れの一つだと考えます。私宛にいただいた皆さんからのご意見も昨年12月11日に担当副市長に手渡し、その後、まちづくり局長、交通政策室長も交え、早期の事業着手を確認しました(2面参照)。行政手続きだけでなく、市民の意見聴取がなされることは市としてもありがたいとの回答がありました。ぜひ、改めて皆さんのお考えをお聞かせください。市に要望書として提出します。

▲上の切り取り線で切ってFAX(044-245-4135)か、郵送で返信を

# 福田市長「実現に向けて取りくむ」と明言

**あまがさ>** 国の鉄道関係予算は約1,000億円とされています。そのうち850億円は整備新幹線に充てられ、実質150億円がその他の鉄道インフラ整備に分配される現状です。そのような中、交通政策審議会の東京圏における今後の都市鉄道のあり方に関する答申は、地方自治体が出した要望を、ヒアリング、プライオリティを含め、費用便益 (B/C) も検証した上で公表された非常に重みのある尊重すべき答申ですが、市長はどのようにこれに対応すべきと考えていますか？

**福田市長>** この答申に盛り込まれた本市に関わる路線については市内外の拠点間の連携や首都圏にふさわしい交通の整備に資するものとして、実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。

# 首都圏の国際競争力アップのため 優先的に国が予算を講じる「すべき」路線市は踏み込んだ位置づけを

**あまがさ>** 答申で出された40の路線のうち、5つの実現性のある「すべき」路線として位置付けられました。指摘された点が整えば優先的に国が予算を講じる路線とされています。答申は東京圏を、パリ、ニューヨーク、ロンドン、ロサンゼルス、上海、トロントなど大規模な国際競争力に勝つ都市にするために、国と自治体、交通事業者が一体となってこれを行うのが当然とされています。ところが、川崎市総合都市計画では、改定前は期限を切って出していました。なぜ、わざわざこのようなことをしたのかお答えください。

**金子まちづくり局長>** 現在改定を進めている総合都市交通計画では答申に位置付けられた6路線を含めた鉄道ネットワーク形成事業について、調整状況などを踏まえ時期を示しています。取り組み時期は各事業における上位の政策や周辺都市との連携など、事業環境の変化、必要に応じた対応を図ることとしています。

**あまがさ>** 答申の「すべき」路線は総合計画の改定後は少なくとも市の考え方によるランクから外して、調整路線として切り出すことが最低限必要です。しっかり国の情報を取り、上位計画、一体計画として対応してもらうことを要望します。

<2017年12月市議会での答弁>

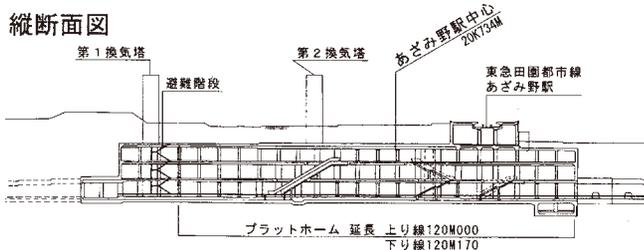
# すでに複数ルートを検討中!

- 1) 横浜市との協議  
横浜市による平成30年度末の事業化判断に向けて、ルートの考え方、事業スキームなどに関する協議を実施中
- 2) 小田急電鉄との協議  
横浜市交通局、小田急電鉄、川崎市の3者で意見交換を開始
- 3) 川崎市市内では、延伸部のルートや中間駅のあり方、事業スキーム、市域のまちづくりに関する調査などを行うとともに、関係課と連携し意見交換を行っている

平成30年3月までの横浜市との協議回数
副市長級 1回(4月)
部長級 4回(3月、8月、1月、3月)
課長級・係長級 高頻度で実施中



仮に小田急線をまたがずに新駅を地図に落とし込むとこのようなイメージ。  
あざみ野駅の構造をみても小田急線との交差は困難!  
※駅に大きさを示すもので位置の確定ではありません。



# 促進に関する署名を担当・三浦副市長に提出しました

## ■川崎市として、ルート、駅位置をしっかりと出す

**あまがさ>** 本日提出した要望書の多くが、早期建設を望んでいます。「いつになったらできるんだ」「川崎は南部ばかりに投資が行われ、北部は軽視されている」「横浜まかせで、川崎市はやる気がないのでは」との声が寄せられています。

横浜市では運行主体の交通局が深度をあげた調査に入っていて、平成30年度末の事業化診断とは形式で、実施は既に決定しているといつてよいでしょう。

スピード感を持った本市の事業の進め方について確認しますが？

**回答>** 平成30年度末の横浜市の事業化判断に際しては川崎市側がやらなければ確定しないルート、駅などの川崎市のまちづくりに関係するものを、住民に意見を求めていけるように出していきます。そのためのスケジュール感をしっかりと持って事業を行っていますし、今後も取り組んでいきます。

## ■住民意見を捉える機会をしっかりと設定する

**あまがさ>** 住民意見の反映については、平成27年7月に質問し、重要なことなので、適切に対応したいとの答弁をもらっていますが、考え方は？

**回答>** 条例上の求められる手続きだけでなく、住民の意見を捉える機会をしっかりと設定していきます。今回の要望者のように、行政だけでなく様々な形で意見の聴取がなされていくことは大変ありがたいことだと思います。

三浦副市長は3月末で退任されますが、後任の藤倉副市長も引き継ぐ事を確認しています。



平成29年12月11日、皆さんからいただいた市営地下鉄3号線の延伸の促進に関する署名と意見書を担当副市長である、三浦淳・副市長に提出しました。その後、金子督・まちづくり局長と矢島浩・交通政策室長も交えて、左記の点を確認しました。

郵便はがき

215-8790

料金受取人払

麻生局承認

647

差出有効期間 平成31年12月24日まで

(受取人) 647 川崎市麻生区高石 3-27-4

**あまがさ裕治**  
事務所行

### あなたのご意見をお寄せ下さい

お名前	住所・電話
ふりがな	川崎市
	TEL ( )